

定例会議の開催状況

第1 開催日時

令和6年1月11日（木） 午後0時50分～午後5時

第2 開催場所

公安委員会室

第3 出席者

1 公安委員会

上枝委員長、岡委員、大石委員

2 警察本部

本部長、警務部長、生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長、
首席監察官、情報通信部長、地域監、総務課長

第4 委員説示

委員から、「今年は元日から能登半島地震が発生し、県警察からも警察職員を特別派遣した。災害や事件・事故は、いつ発生するか分からないので、改めて警察の仕事の厳しさを認識させられた。今年も、特殊詐欺被害の防止、交通事故の抑止等県警察に課せられた課題はたくさんあるが、やるべき事、できる事を淡々と怠ることなく着実にやっていけば、自ずと、県民の期待と信頼に応えることになるのではないかと思っている」旨の発言があった。

第5 報告事項

1 初任科第93期（長期課程）卒業式の挙行について

県警察から、初任科第93期生（長期課程）22人は、県警察学校における10か月間の初任教養を修了し、1月26日、卒業する。卒業後は、警察署に配属され、採用時教養の一環として、職場実習を行う旨の報告があった。

委員から、「実際に現場に出て、そこで働く先輩方の経験を学ぶような教育は非常に大事なことである」、「卒業時の年齢も最年少18歳11か月から最年長27歳3か月と幅広く多様な人材が集まったと思う。これから現場実習ということで、いろいろ刺激になったら良いと思う」旨の発言があった。

2 国家賠償請求事件の発生について

県警察から、香川県及び国を被告として、国家賠償請求事件が提起されたので、関係機関と連携して応訴する旨の報告があった。

委員から、「関係機関と連携して適切に対応していただきたい」旨の発言があった。

3 令和5年中の交通事故の発生状況について

県警察から、令和5年中の交通事故死者数は3年連続減少し、統計資料が残る昭和23年以降2番目に少ない33件33人（前年比-2人）となり、全死者に占める高齢者の割合が約7割を占めたほか、夜間の割合が約6割を占めた旨の報告があった。

委員から、「単年でみると効果は分かりにくいですが、長期的にみると交通事故発生件数、負傷者数、交通事故死者数は、かなり減少している。これは、県警察の地道な努力の結果だと思う。今後の課題としては、高齢者による交通事故防止対策をどうしていくかという点だと思う」、「令和5年も前年に比べて、交通事故死者数が減少したということは素晴らしいことである。今年もより一層の交通事故の減少に向けて取り組んでいただきたい」、「昨年、四輪の死者数が大幅に減少しているが、これは、パトカー等による見せる活動や道路における特に危険な場所での交通指導取締りなどの成果の表れだと思う。シートベルトや自転車乗車時のヘルメットをしていたら助かっていたかもしれない交通死亡事故もあったようだが、是非、そういうことの啓発活動を引き続き行っていただきたい」旨の発言があった。

第6 決裁

1 苦情受理報告について

2 公安委員会定例会議会議録の作成及び公表について

（令和5年12月7日開催分、令和5年12月21日開催分）

第7 その他

1 警察職員等の特別派遣について

- (1) 県警察から、令和6年1月3日に各委員から承認を得た令和6年能登半島地震に伴う石川県からの警察職員等の援助要求について、1月4日から特別派遣した当県警備部隊の活動状況等の報告があった。
- (2) 県警察から、令和6年1月10日に各委員から承認を得た令和6年能登半島地震に伴う石川県からの警察職員等の援助要求（特別生活安全部隊）について、受諾を通知した旨及び派遣先での活動内容等について報告があった。

2 行政処分に対する審査請求について

県警察から、香川県公安委員会が行った運転免許の取消処分に対し、行政不服審査法に基づく審査請求書の提出があったので、所定の手続により審理を進める旨の報告があった。

3 警戒の空白を生じさせないための組織運営について

県警察から、社会情勢の変化及びこれに伴う治安情勢等の変化に的確に対応し、警戒の空白を生じさせない組織運営を行う旨の報告があった。

4 運転免許の取消し等の審議について

県警察から、運転免許の取消し等に係る意見の聴取等について報告があり、審議の上、処分内容を決定した。